



「さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。」エペソ4章1節

2015年度「卒業式・按手式」

「ナアマンとその宗教」 米村 英二師

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン聖書学院

CFNJ NEWS

2016年4・5月号 NO.163



「失望を超えてあるもの」第Ⅱ列王記5章

ナアマンとその宗教

「アラムの王の將軍ナアマンは、その主君に重んじられ、尊敬されていた。主がかつて彼によってアラムに勝利を得させられたからである。この人は勇士で、ツァラアトに冒されていた。」(第Ⅱ列王記5章1節)

大津キリスト教会牧師・学院顧問 米村 英二 師

しかし彼は、 重い皮膚病にかかっていた。

アラムという国にナアマンという將軍がいました。彼は有能な武將で、主君に重んじられ、人望が厚く、人々から尊敬を受けていました。しかし、1つだけ悩みがありました。それは彼が重い皮膚病(新改訳聖書第3版では、ツァラアトとしている)であった事です。イスラエルとの戦争で勝利をおさめ、凱旋した時の事です。彼は、1人のユダヤ人の娘を奴隸として連れ帰りました。その娘は、その後、ナアマンの妻に仕えていましたが、主人ナアマンの病苦を聞いてこう言いました。

「サマリヤにエリシャという預言者がいます。私はその方がさまざまな奇跡を行なうのを見てきました。もしその方のもとに行かれるなら、必ずや、ご主人様の病氣も治るに違いありません」(3節)

そこでナアマンはアラムの王に、エリシャとの面会の許可を求めます。王は快く承諾し、イスラエルの王に親書を書いちゃくれます。ナアマンがそれをイスラエルの王に送ると、受け取った王は驚愕します。その親書にはこう書かれていたからです。

「この手紙とともに私の家臣ナアマンを送ります。ぜひ彼の重い皮膚病を治してやってください。」(5節)

イスラエルの王は思いました。「何ということだ。私は神だろうか。この男を送って、重い皮膚病を治せと言う。アラムの王はいいがかりをつけ、われわれを攻撃する気なのだ。」

(7節) イスラエルの王は服を引き裂いて、やがてくるかもしれない国難を嘆くのです。それを聞いた預言者エリシャは王に言いました。「その人を、私のところに送りなさい。」(8節)

そこでナアマンはたくさんの贈り物を持って、馬や戦車とともに部隊を引き連れ、エリシャのもとにおもむくことになりました。しかし、エリシャの家に着いても、エリシャは家から出てきません。ただ、ひとりのしもべを遣わし、次の言葉を伝えました。「ヨルダン川に行って、そこで七たび身を洗いなさい。そうすれば元どおりになるでしょう。」(10節) それを聞いて、ナアマンは怒りました。

「何ということだ。私は彼がきつと出て来て、立ち、彼の神、主の名を呼んで、この患部の上で彼の手を動かし、この重い皮膚病を治してくれると思っていたのに。それなのに、ヨルダン川に身を浸せとは。そんなことで治るものなら、私の国ダマスコには、これよりもっと清らかな川がたくさんあるではないか」(11節) そう言って引き返そうとすると、ひとりの家臣が將軍に進言します。

「わが父よ、あの預言者が、もし難しいことを命じたとしたら、あなたはきつとそれをおやりになったはずですよ。彼はただ、『ヨルダン川に七たび浸り、身を洗え』と言っただけではありませんか」(13節) ナアマンはその賢い家臣の意見に耳を傾け、ヨルダン川にゆき、そこで七たび身を浸します。するとどうでしょう。彼の皮膚は幼子のようにきよくなったのです。

この物語はわれわれに何を教えるのでしょうか? ナアマンはアラム国最大の英雄です。多くの戦いに勝利し、主君に重んじられ、部下にも尊敬され、どこから見ても、彼は幸運の人でした。ところが聖書は言っています。「しかし彼は重い皮膚病であった」と。ナアマンにかぎらず、どんな人にも「しかし」と言わなければならぬものがあるのではないのでしょうか。外からは幸福に見える人でも、「ああ、そうだったのか」と意外な悩みをもっていることを聞いて驚くことがあるものです。人はみな「これさえなかったら」と思うような不幸や悲しみを抱えながら生きているのではないのでしょうか。ところが神は、いつもそうなのですが、その人が「これさえなければ」と思っている、まさにそのことを通して、想像もしていなかった新しい世界へその人を導かれるのです。人の心を深め、広げ、高めるのは、いわゆる幸福でなく、むしろ「これさえなければ」と思っている一つの不幸である場合が少なくありません。

「幸福な家庭はどれも似ているが、不幸な家庭はそれぞれみなちがっている」これはアンナ・カレーニナの冒頭の部分です。私たちの人生の個性は、いわゆる幸せというものにはなく、不幸の中にあるということなのでしょう。そして神の働きは、いつもその不幸と思われるものから始まるのです。パウロにもトゲがありました。そのトゲを取り除いてくださいと彼は三



度祈ったと言っています。しかし神の答えは「私の恵みは十分だ」でした。パウロはのちに、その意味がわかりました。そして、こう言ったのです。

「神の力は、弱いところにこそ、完全に働く」と。ナアマンがただ有能な將軍であっただけなら、聖書に記されることはなかったでしょう。彼が、日々悩んでいたこと、自分に「これさえなかったら」と思うものを持っていたこと、それが彼を神との出会いへと導いていったのです。

傷つけられたプライド

しかしナアマンは危うくその機会を失うところでした。それはなぜか。第一は、ナアマンが、自分を將軍として扱ってくれることを預言者に期待したからです。彼は預言者エリシャとの面会を成功させるために万全の備えをしました。特別な計らいと、特別に効き目のある祈りをエリシャにやってもらうために、王の親書を持ち、多くの贈り物を携え、自分がいかに偉い將軍であるかを証明するための軍隊さえも引き連れ、その行列は大がかりなものでした。それなのに彼らが到着しても、肝心のエリシャは家から出てこず、ただ使いの者をよこし、エリシャの言葉を伝えただけでした。「何ということだ。將軍である私がこれだけの準備をして出向いたのに、彼は、家から出て来ない」ナアマンは自分を將軍として出迎えてくれるものだとばかり思っていました。ところがエリシャの対応は彼の期待とはあまりにかけ離れたものだったのです。彼のプライドはひどく傷つけられました。彼は知らなかったのです。天地万物を造られた神の前では、人はみな裸の人間になるというところ。そこには將軍もなければ乞食もありません。

ここに預言者の宗教の特色があります。預言者の宗教は、すべての人を平民にします。平等にします。彼らからすべての肩書きを取り除きます。人はみな神の前ではひとりの無力

な罪人であることを知らされるのです。

イタリアの詩人ダンテは『神曲』という大叙事詩を書きました。なかでもよく描かれているのは『地獄篇』だそうです。でもこれは一つの文学作品ですから、死後の世界が彼の描いた通りのものかどうかというのでは決してありません。しかし彼は、この書によって、何が尊く、卑しいものであるかを明らかにしています。その点では、ダンテの『神曲』は確かに人類へのメッセージをもった古典的文学であると言えるでしょう。多くの人が驚くのは、ダンテが、様々な人を地獄界に投げ込んでいる点です。地獄界には、いくつかの段階があって、下にゆくほど罪は重くなるのですが、そこにはソクラテスもいれば、プラトン、アリストテレス、アレクサンダー大王、クレオパトラらがあります。そしてそれらの文化人を、ダンテは彼らにふさわしいと思われる場所にみごとに配置しているのです。実に大胆な試みです。しかしそれは、人間が決めてやってはならないことでしょう。それにもかかわらず、それをダンテがあえてやり、しかも、それらの著名人が何故かしっかりとその場所に収まっているところに、ダンテの文学的成功がある、と言われているのです。ダンテの地獄は、そういう意味ではあまりに美しく、華麗に描かれすぎているのかもしれませんが。地獄とはもっと深刻な場所であるはずですが。ところがダンテの地獄には、人間のあらゆる文化的活動が見られます。芸術があり、音楽があり、人びとの同情を誘う悲しい恋愛の物語があります。しかしひとつだけそこに見いだせないものがあります。それは何でしょうか。神を恐れる心と、罪を悲しむ心です。したがって地獄とは、それが来世であれ現世であれ、神を恐れ罪を悲しむ心のない場所だというのがダンテの信仰だったのでしょう。そう考えると、放蕩息子が何故？神に迎え入れられたか、ダビデが何故？「私の心になつた者」と言われたか、パウロが何故？伝道者として用いられたかの説明がつかず。彼らにあったのは、自分が罪深い人間であることの自覚と、罪を悲しむ心だったのでから。(次ページに続く)

アウグスチヌスの『告白録』を読むとき、われわれが共感するのも、彼の深刻な罪との戦いと、その正直な告白です。われわれを救いに導くのは、ただ一つ、罪を悲しむ心なのに違いありません。ナアマンが癒されるには、彼自身が、将軍でも英雄でもなく、神の前には、ひとりの罪人にすぎないという事実を知ることが必要だったのでしょう。ところがナアマンは、自分が将軍として扱われなかったことで、つまずいたのです。

まことの宗教とは

ナアマンが危うく機会を失いかけた第二の理由は、彼の宗教的偏見です。ナアマンは言いました。「私は彼が・・・彼の神、主の名を呼んで、この患部の上で彼の手を動かし、この重い皮膚病を直してくれると思っていたのに」と。これがナアマンの宗教でした。ところがエリシャは全くそんなことをやりません。ナアマンは、うやうやしい儀式や祈り、特殊なまじないを期待していたのに、エリシャは祈りもせず、ただ人を遣わして、ヨルダン川で身を洗えと言っただけです。あまりに宗教性のないやり方に、ナアマンは途方にくれたことでしょう。われわれも同様なことを宗教に期待しないでしょうか。お経や祈りも長ければ長いほどありがたく、かつ効き目があるような気がするではありませんか。

「リンカーンの3分間」という本があります。3分間とは、南北戦争の激戦地、ゲティスバーグでリンカーンが語った演説の時間のことです。リンカーンがその演説をする前に、ハーバード大学の総長が2時間に及ぶ大演説をして、聴衆に大きな感動を与えました。さて、今度は大統領リンカーンの番です。彼はどんな演説をするだろうか。聴衆は大きな期待をもって注目しました。ところが彼の演説はわずかに3分、272語からなるあまりにも短いものでした。写真師が、急いで三脚をすえ、黒い布をかぶって位置を直している間に終わってしまったのです。聴衆は失望しました。これが大統領の演説か、なんとお粗末なものか。しかしこのあまりにも短い、見栄えのしない演説が、人々の心に永遠に残るものとなりました。その演説の最後は、あの有名な「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉で結ばれていたのです。何事においても大事なものは外側ではありません。その内容であり、実質です。ナアマンの、あの盛大な準備に対して、預言者エリシャの命じたことは、あまりに単純でした。祈りもなければ、うやうやしい儀式もありません。

ナアマンは怒って引き返そうとしました。しかしひとりの賢明な家臣が言いました。「ナアマン将軍、もし彼が、もっと難しいことを要求したら、あなたはそれをされなかったでしょうか。金を積みと言われたら、積まれたでしょう。苦行をせよと命じられたら、されたでしょう。しかし彼は、ただヨルダン川に7回没れ、と言っただけではありませんか」この賢い家臣の進言がなかったらナアマンは偉大な機会を失っていたでしょう。

ナアマンのすばらしさは、この家臣に耳を傾けるだけの謙虚さがあったところにあります。私たちの祈りや願いにも、思い込みがないでしょうか。私たちの失望の多くは、ナアマンと同様、「・・・してくれると思っていたのに、そうしてくれなかった」という点にありまじないでしょうか。われわれは人生に期待します。ところが人生は、自分の思うとおりになりません。私は電波高校に進学しましたが、入ってわかったのは、電気の勉強がきらいだということでした。進路を間違っただけで悩みました。でも振り返って見ると、自分の思い通りにならなかった、まさにそのことが、私をキリスト教に導いてくれたのです。

人生は多くの場合、期待はずれです。学校の先生に話せば、先生は、きっと耳を傾け、改善してくれると私たちは思います。ところがそうしてはくれません。結婚したら、そこに理想の生活があると思います。ところが現実はそのようではありません。クリスチャンになったら、神は、われらのすることをすべて祝福してくださいと思います。ところが必ずしもそうではありません。われわれは思います。ああ、人生は、なぜこんなにも、自分の願い通りにはならないのかと。しかしナアマンの場合がそうであったように、期待はずれが益となるのです。ナアマンには、エリシャの応対も、「ヨルダン川に7たび没り、身を洗え」という言葉も屈辱的なことに思われました。一時は、その屈辱に耐えられず、引き返そうとしました。しかし家臣の言葉によって踏みとどまり、従う道を選んだのです。こうして結果的には、自分の希望どおりでなかったことが彼の祝福となりました。

私たちの人生も、決してわれわれの願いどおりには運びません。いや、むしろ神は、われわれの期待をうち砕き、失望させられます。そのときどんな態度をわれわれがとるか。そのことを神はごらんになっているのです。そこに私たちの人生のかぎがあると言えないでしょうか。(終)

御霊の務めを 始める為に…

クリスチャンライフ教会主任牧師・学院顧問

水野 明廣 師



「神である主の霊が、わたしの上にある。主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え、心の傷ついた者をいやすために、わたしを遣わされた。捕らわれ人には解放を、囚人には釈放を告げ、主の恵みの年と、われわれの神の復讐の日を告げ、すべての悲しむ者を慰め、シオンの悲しむ者たちに、灰の代わりに頭の飾りを、悲しみの代わりに喜びの油を、憂いの心の代わりに賛美の外套を着せさせるためである。彼らは、義の樫の木、栄光を現す主の植木と呼ばれよう。」(イザヤ書61章1節～3節)

■まず御霊の務めとは何であるかを知る必要があります。それはイザヤ書61章1節～3節にあるように、救いと癒し、解放の務めです。御霊の務めをするにあたって、どのような知恵と心構えが必要であるかを一緒に見ていきましょう。

聖書をみるなら、イエス様は非難や批判を受けることがあり、ご自分の郷里でも軽蔑されることがありました。マタイ13章58節をみると、イエス様は、「彼らの不信のゆえに、多くの力あるわざをなさらなかった。」と書いてあります。私たちが、御霊の務めをする為には、主に信頼し、主と良い関係を保つ必要があります。そのような関係の中で、主の「しるしや奇跡」があらわされるのです。しかし私たち人間と神との関係を妨げる理由はいくつかあります。

■私たちが主との関係を妨げる3つの理由

1. 日本の君(この世の君)の霊的な影響によって

■日本の君(この世の君)は、私たちが主に期待することがないように背後で働きます。そのような霊的な働きによって、主にに対して願う事を起こさせなくするのです。

2. 人が主に対して無知であるため(主を知らない為)

■私たちは主に対して無知であってはなりません。私たちは神の本当の恵みを理解する必要があります。

「この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それをほんとうに理解したとき以来、あなたがたの間でも見られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がっています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。」(コロサイ1章6節)

この聖書箇所に書かれている「理解」とは、「エビギノスコ」というギリシャ語が使われており、「徹底的に理解する」という意味があります。コロサイの人々は、この神の恵みを本当に理解していたのです。その為、この福音は勢いをもって世界に広がっていきました。又、私たちは更に、神の知識が増し加えられるよう主に祈り求めていく必要があります。

「こういうわけで、私たちはそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみことばに関する真の知識に満たされますように。」(コロサイ1章9節)

3. 人文主義(ヒューマンイズム)によって

■今日もヒューマンイズムの思想が、世界中に広がっています。そのために、多くの人は神を必要とすることなく生活をしています。それはまるで、バベルの塔が建てられた時のようです。人が名前を上げようとする時代であり、肉の力が強い時代であります。このような理由を

通して、主と良い関係をもつことが妨げられてしまうのです。しかし、私たちは、御霊の務めを果たす為に、主との良い関係を保たなければなりません。私たちは主の良き通り警として、人のつまずきとなる対応や行動をとることがないようにしましょう。

■愛と赦しを受け入れる

■ある方が、視力が衰える病にかかり盲目となってしまった出来事がありました。私は、その方の為に祈っていると、御霊の知識の賜物によって、その方が何か赦さない思いに縛られているような思いが与えられました。それでその方に、「赦さなければならぬ人はいませんか?」と尋ねました。その方は、「思い当たる節はありません。」と話されていましたが、後日、あることに気が付いたそうです。その方は自分の夫を蔑み恨んでいたことを思い出し、そのような思いを心に秘めていたことを話してくれました。私はその方に赦しのミニストリーを行い、共に赦しを宣言する祈りをしました。するとその後、その方の視力は回復していきました。又、自分自身の恥の意識について(過去に犯した罪や失敗などによって)自分自身を赦すことができていない為、身体に悪影響を及ぼし、病にかかることがあります。このような経験を通して、私は赦しと癒しには関係があることに気が付きました。聖書でイエス様が「赦しなさい。」と語っている御言葉は、御霊の務めを行うにあたり、とても重要な御言葉であることを理解しました。赦すべきことが小さなことであれ大きなことであれ、しっかりと赦すことを取り扱わなければなりません。何故なら赦さない心は、主への祈りを妨げることになるのです。マタイ福音書18章34節、35節をみるなら、赦さない人が獄吏に引き渡される姿が書かれています。又、私たちは、主に赦されている存在であることをしっかりと理解し、受け止めなければなりません。自分が主に赦されている事を理解していなければ、他人を赦すことは困難でしょう。創世記45章5節、50章20節に登場する、ヨセフは、赦しの人として描かれています。ヨセフは過去に兄弟たちのしたことを、恨んだりすることなく「神がいのちを救うために、私をエジプトに遣わしてくれた。」と話し、主はすべてを益とされることを兄弟たちに優しく語りかけ慰めを与えました。ヨセフは兄弟たちのしたことを赦しただけではなく、慰めをも与えたのです。

■自分と神様の関係を壊すもの、聖霊の悲しむものを捨てる

■私たちが悪いことばを口にすることによって、聖霊は、悲しまれます。このような悪いことばは、人の徳を養うことなく、人に恵みを与えるものにはなりません。「悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。ただ、必要なとき、人の徳を養うのに役立つことばを話し、聞く人に恵みを与えなさい。神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。」(エペソ書4章29節・30節) 私たちは先程のヨセフのように、慰めのことばによって、人に恵みを与えるものとなる必要があります。

■聖霊の務めができるために

■最後に、私たちはいつも聖霊に心を向ける習慣をもちましょう。また、自分自身の感情や気持ちにすぐに左右されずに、聖霊から受け取ったものを時間をかけて吟味し行動しましょう。そして、御言葉に熟練したものと、聖霊の働きを担う必要があります。「あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。」(IIテモテ2章15節) 主の御霊は、あなたを通してこの地上で力強く働きたいと願っておられます。



愛するとりなし手の皆様へ

世界の為の祈り



チャールズ&ダイアン グリコ

WORLD PRAYER SHARE LETTER

プレイズ・レポート!

ロシアとウクライナのユダヤ人の帰還
(イスラエルへのアリーヤ)

■聖書の多くの箇所、主が異邦人を呼び出し、主の民を故国へ連れ帰るのを助けさせることが書かれています。イザヤ書49章22節には「見よ。わたしは国々に向かって手を上げ、わたしの旗を国々の民に向かって掲げる。彼らは、あなたの息子たちをふところに抱いて来、あなたの娘たちは肩に負われて来る。」と書いてあります。実に、イスラエルの子たちが彼らの国に戻ってきていることは世界中に対する証しであり、唯一まことの神がご自身の約束を守られる方であり、真実なお方である証しです。過去1年以内に『アリーヤ』したユダヤ人は44%近く増加し、ウクライナからイスラエルに戻ったユダヤ人は34%まで増加しました。「普通」に見るなら、これはウクライナへの侵略の結果としてロシアに課せられた金融制裁とともに、石油価格の値下がりによって起きたロシアの大不況に起因するものと考えられますが、クリスチャンは、イスラエルの『アリーヤ』は神のみことばの預言の成就であり、私たちが『終わりの時』にいるしるしであり、さらに、キリストの再臨のしるしであることを知っています。

祈り

■収穫の主が、世界中の信者たちの心に触れて、ユダヤ人を助ける働き人のために執り成し祈り、ロシア、エストニア、ラトヴィア、リトアニア、ベラルーシ、および世界中の国々からイスラエルに戻るユダヤ人の経済的必要を助けたいという思いを与えてくださるよう祈りましょう！（詳しい情報の問合せ先 <http://us.icej.org/news/special-reports/surge-russian-aliya>）

イギリスの信者たちの為のリバイバルの祈り

英国におけるイスラム教人口が2051年迄に2600万人に！

■英国の主流マスコミが、イギリスにおけるイスラム教徒の人口は10年ごとに75%上昇していると報じています。現在、英国には200万人のイスラム教徒がいます。2021年迄に英国のイスラム教徒の人口は490

万人、2051年には2600万人に達するでしょう。(さらに、イギリスのクリスチャンのほとんどの子供たちが信仰を離れていくなかで、今、イスラム教徒の子供たちはイスラム信仰に戻ってきています。)

昨年(2015年)英国初の女性シャリーア法裁判官は、英国政府がイスラム教の一夫多妻制を禁止する権利はないと述べました。「タイムズ」誌によると、現在、イギリスでシャリーア法の下で結婚している、英国法ではその結婚が認められていないイスラム教徒が約10万人います。これらの結婚の多くが一夫多妻です。今年、イスラム教徒の女性たちがイギリスの裁判所ではなくシャリーア法廷を使うように圧力をかけられ、シャリーア法廷によって抑圧され、虐待を受け、差別待遇されるにもかかわらず、彼女たちが従わなかった場合には脅迫され、脅かされるという報告がありました。イギリスにおけるイスラム教徒の人口と彼らの宗教的要求が増大するにつれて、イギリスのクリスチャンは深刻な迫害、特に、言論の自由と福音を宣べ伝える自由において、深刻な迫害を体験することになるでしょう。

祈り

■イギリスの信者たちの中に、リバイバルがおこるように祈りましょう。彼らが、マタイ28章19～20節のキリストの大宣教命令に従うように、またマタイ9章37～38節のイエス様のことばが成就するように祈りましょう。

『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。』(歴史上の他のどの時代よりも、今日および今という時に、多くのイスラム教徒がキリストを信じる者となっています。神はだれひとりとして滅びることを望んでいません。) 情報源：(マオズ・イスラエル・レポート 2016年2月号 - www.maozisrael.org)

シリアの為の祈り

今は離れるときではありません!

■何百万ものシリア人が自国から逃げているなか、ハルト師*(アルメニア福音派牧師)は、シリアにある彼の教会を放棄することを拒否しています。彼は今、まだそこで生き残るために苦闘している人々のために、クリスチャンの指導者たちがその地にとどまることが、

これまで以上に重要であると考えています。彼はこう語りました。「ここでの人生はとても危険です。だから、私たちは信者に仕え、未信者に福音を分かち合う責任があるのです。この引き裂かれた国には、神の愛と憐れみを示すことができる聖霊に満ちた人が必要です。私の家族は、戦争が終わるまで、ここにとどまることができるようにあらゆることをしています。」(*牧師のフルネームは安全上の理由から差し控えています。)

祈り

■シリアにいるキリストの体である、ハルト師とご家族、信者たちのために祈ってください。彼の教会はキリスト教徒とイスラム教徒たちにとっての中心であり、シリアの首都でもあるダマスカスにあり、そこで戦争で苦しんでいるすべての人々に救援物資を提供しています。また、たくさんの難民キャンプで未信者たちに証しをしているクリスチャンたちのためにも祈ってください。ISISの暴虐に遭い、故郷から追われた何千人もの人々が苦難と悲痛な状況に直面している真只中であって、聖霊は救いと回復の奇跡のわざをなしつつあります。

中国からのプレイズ・レポート

中国のある地域での驚くべきリバイバル

■中国政府によってコントロールされていた『三自愛教会』の中国人クリスチャンの多くは、聖霊についての聖書の教えをまったくくわてたことがありませんでしたが、今、彼らは賛美と礼拝のなかで神の力強いご臨在を体験し、同時に奇跡的ないやしがたくさん起こっています。確かに神は、共産党政府からの激しい弾圧と物理的な迫害にもかかわらず、祈り、またキリストの福音の証しをし続ける信者たちにこたえて、中国にご自身の御霊を激しく注がれています。中国のクリスチャンたちは、政府が40年も掲げてきた「一人っ子政策」が、今や、一家族につき子供二人に変えられたことを喜んでいますが、私達も彼らと共に喜びつつも、信仰のゆえに今も迫害されている中国のクリスチャンたちのためにも引き続き祈りましょう! 初代クリスチャンたちが祈り、証しをしたとき、ローマ帝国は崩壊しました。人には不可能なことも、神には可能です!

情報源：CBS ニュース - 世界のニュース2016年2月9日より <http://fwto/MOho7dW>

2015年度 卒業式・按手式

去る3月4日、2015年度3学期終了日に、卒業式及び按手式を執り行うことができました。今回学院を巣立ったのはALPS生4名と、2年コース生2名、計6名の兄弟姉妹でした。このうち、ALPS卒業生の2名の兄弟に対し、CFNJオーディネーションチームによる按手と祝福の祈りがなされ、教職者認定書が手渡されました。特別ゲスト、クリスチャンライフ牧師、水野明廣師からの、愛と励ましに満ちたメッセージ、学院教師や共に学んだ在校生達からの祝福を受けて、卒業生たちは喜びと希望を胸に、それぞれ新なる一步を踏み出しました。これらの働き人のため、共に、祝福と油注ぎをお祈りいただければ幸いです。



ドベリ・クリス・ロベルト
2年コース卒業・アルプス
コース卒業(按手礼受了者)

イエス様は約束を守る御方！

■振り返ると、あつという間に時間が過ぎたように思われます。もう3年が本当に経ったのでしょうか？自分の大好きな場所で時を過ごすとき、このように感じるものです。日本で神のみことばを学ぶこと。自分では決して実現できるとは思えなかったことでしたが、私は今ここにいます。CFNJを卒業。ハレルヤ！神様は偉大なお方です！イエス様が私と一緒にいてくださり共に学ぶ素晴らしい人々を与えてくれました。

敬虔な先生方、理解のある学生達、正に神が愛するように励ましを与えてくれるCFNJのスタッフが

つも私のまわりにいてくれました。幸せな感情ばかりではなく、同情や後悔の思いが混じる時もありました。

3年間でもっとできたことがあったのではないかと、もっと自分の心を聖霊に明け渡し変えられる余地があったのではないかと感じる時もありました。私のいのちは神の御手の中にあります。私にはイエス様の導きが必要です！聖書には主が私たちを召しだすとき、主が責任を取ってくださる、私たちを失望させず疑いのときにも私たちに御手を伸ばしてくださるとあります。今、私に残されているのはイエス様が約束を守る方であることをただ信じ歩み始めることだけです。アーメン！



安達 郁里
2年コース卒業・アルプス
コース卒業

主の恵みはいつも十分です！

■ハレルヤ、主の御名をほめたたえます！
主の愛と恵みにより、3年間の学びを終えることが出来ました。自分には何もないことを学び、主の恵みはいつも十分であることを見ました。自分の弱さを知るときに、主の愛の大きさ、真実さ、偉大さを知りました。この3年間、祈り、励まし、献金や様々

な形の愛を持って支え続けてくださった皆様に、感謝の思いでいっぱいです。また同じ時代に、同じ場所で共に生きられる喜び、ひとりひとりの出会いが神様からの宝物です。愛する主にすべての栄光がありますように！

「あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。」詩篇16篇 11節

養われる1年！

■ハレルヤ！主の御名を賛美します。
ALPSコースを卒業できたことを心から嬉しく思います。主の好意と報いのなかで養われる1年を通して、ますます主への飢え渴きが与えられました。主は卒業後の道をも備えてくださり、CFNJ聖書学院のスタッフとして働くことになりました。これからも、主の御声に聞き従い、従順をもって主の働きを全うしたいと願っています。「すべて彼を信じる者は、失望に終ることがない」ローマ書10章11節



坂本 清恵
2年コース卒業・アルプス
コース卒業(按手礼受了者)





主の愛を強く感じた1年！



相田 朝美
アルプスコース卒業

■「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くてくださったことを何一つ忘れるな。」(詩篇103篇2節)

聖霊様の不思議な導きで学院に入学してから1年、多くの方々の理解と励ましと祈りに支えられて、こうして卒業を迎えることができる恵みを主に感謝します。みことばを愛し主に仕える真

摯な先生方の姿を通して、それぞれのお人柄の中にキリストの姿を見ました。又、学生との交わりや共同作業を通して、私たちの間に働かれる主の愛を強く感じました。

「まことに、あなたがたは喜びをもって出て行き、安らかに導かれていく。」(イザヤ書55章12節)

どんな時もイエスさまから目を離さず、ただ主に信頼し主を見上げて歩みます。ハレルヤ！

清められ、新しく造り変えられた2年間！



仲宗根 泉里
2年コース卒業

■CFNJ聖書学院を卒業しました！

学院の学びと生活、又、奉仕教会として通った札幌クリスチングループでの2年間を通して受けた訓練は、僕の心を清め、新しく造り変えて下さいました。又、神様が私に、いつも真実で変わらない愛をもって愛してくださる方である事を示して下さいました。更に学院生活を通して、愛する子には懲らしめを与え、後に益として下さるお方であることも体験しました。

学院での聖書の学びは、私の見方や考え方

を変えて下さいました。又、人との交わりを通して、神様は自分の内にある肉の思いや考えなど、又、わがままや自我などを打ち砕いて下さいました。これからも内なる弱さを覚える事はありますが、神様は必ず助けて下さると信じています。

次の新しい道はメキシコにある理事長ロドルフォガルサ先生のおられるエピセントロ聖書学院に留学する事を神様は備えて下さいました。CFNJ聖書学院のパイオニアとしてメキシコへの進路を開拓します。神様が私をCFNJ聖書学院に導いてくださり、この2年間を過ごさせて下さった恵みと祝福に感謝します。

■主の御名があがめられますように！

この学び舎で2年間学べたことを感謝したいと思います。心も体も弱かった自分を、主はこのように強くし、弱いところに働いてくださり、強いところは砕いてくださり、主と共に歩んだ幸せな2年間でした。この神の家族でしか共有できない時間は、自分にとって一生忘れがたい宝です。穏やかな学院生活は、長いようで短く、去ることをとても名残惜しく思いますが、主の導かれる所に、私はどこまでもついて行き、従い通したい！

一生の忘れがたい宝！

「あなたは入るときも祝福され、出て行くときも祝福される。」(申命記28章6節)

イエスの十字架を負う者として、このみことばを握り、主がこれからも支え、答えて下さることを信じ通しつつ、歩いていきます！ハレルヤ！



山本 佳代 2年コース卒業

予告! 第20回 ユース・フォー・ザ・ネイションズジャパン2016

YOUTH FOR THE NATIONS JAPAN 2016

終わりの大いなる時、この世の基準は揺さぶられています。私たちは聖書を土台とした真理に立ち、神の御心に関する真の知識に満たされる必要があります。探せ本物!!



メインスピーカー / 長沢 崇史 師

(カナン・プレイズ・チャーチ ユースパスター、24時間 365日カナン祈りの家“CHOP”ディレクター)

Searching for the truth



テーマ / 「聖書探求—ホンモノ/タンキョウ」

「神の御心に関する真の知識に満たされますように。」コサイ書1章9節

2016年
日時 / 5月2日(月) 夕方 ~ 5日(木) 昼まで

スケジュール・分科会・セミナー

YFNjp のグッズ販売

YFN ボールペン

・全3色 (赤、オレンジ、水色)
・各1本/100円



YFN シリコンバンド

・全10色 (クリアー、黒、青、水色、黄緑、赤色、ピンク、パーガンディ、オレンジ、紫) ・各1本/400円



こちらの、収益のすべては、YFNの活動の為の、資金とさせていただきます。

●購入方法/電話かメールにて受付しております。下記連絡先を確認下さい。●支払い方法/商品と共に振込用紙を送らせていただきます。商品到着後、商品の確認をしたうえで、振込のほう、よろしく願います。●商品購入の際は、送料と振込み手数料が別途かかります。ご了承ください。●万が一、商品に不備がある場合には、お手数ですが、連絡をいただいたうえで、商品の交換をさせていただきます。●連絡先/TEL: 0133-74-1341
メール:yfnjapan@gmail.com



5月3日(火) ●分科会

- ①「祈り」 講師 / 長沢 崇史 師
- ②「宣教・伝道」 講師 / 金聖圭 師
- ③「王家のアイデンティティ、奇跡の生涯を生きる」
講師 / ジェリー ジャンセン 師

5月4日(水) ●男女セミナー

男女別&年齢別 (中学/高校 男女別で4グループ)

内容: 「性に対する聖書的理解と、具体的な対応」など。

- ・男子向け講師 / 岡田 好弘 師 (札幌クリスチャングループ)
- ・女子向け講師 / 岡田 留美子 師 (札幌クリスチャングループ)

●みことばディスカッション (座談会形式)

内容: 「コミュニケーション、インターネット SNS の正しい付き合い方」など。

- ・男子向け講師 / 坂本清憲 師 (学院スタッフ・YFNディレクター)
- ・女子向け講師 / 伊藤 銀英 師 (ICF 教会)

5月5日(木) ●集会 (昼食後、解散となります。)

2016年度 1学期 授業カリキュラムスケジュール

CFNJ 特別講義 ゲストスピーカー

(2016年4月11日(月)～7月1日(金)迄)

4月12日(火)～15日(金)迄の4日間
(11日(月)は入学式 午前9時より)



■ニューライフクリストチャーチ牧師。1964年生まれ 大阪府出身 テキスタイルデザイナーを経て献身。Portland Bible College(オレゴン州)卒。1997年牧師に就任し、今日に至る。講義テーマは、「ネクスト・ジュネレーション・リーダー」、知っておくべき8つの大切なこと。趣味はエクササイズ、スノーボー、旅行、読書。妻と三男の父。

豊田信行師

1・2時間目

6月21日(火)～22日(水)
迄の2日間。



■CFNJ講師。インターナショナル・クリスチャンチャーチ・ユース英語担当牧師、プロドラママー。

2・3時間目

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(自由献金制、テキスト代有料) 通常の授業も聴講出来ます。(有料) 又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM8:45～9:40	新約聖書概論 I	詩篇の学び	今日の聖霊	幕屋の学び	山上の説教
2 AM10:00～10:55	金聖圭	田中博	鍛冶川紀子	松原望	鍛冶川利文
3 AM11:05～12:00	日本教会史 鍛冶川利文	児童伝道1 内越 努	賛美礼拝 岡田留美子	日本教会史 鍛冶川利文	エリヤとエリシャ J・ジャンセン

アルプスコース (必修科目)

1 AM8:45～9:40	宣教と 開拓伝道	牧会 セラウン グ	弟子訓練	ヨブ記 I	霊的戦いの学び
2 AM10:00～10:55	R・グドール	小栗昭夫	金 聖圭	石田吉男	岡田好弘
3 AM11:05～12:00	霊的情熱 の回復 三浦雅範	伝道のマスタープラン 鍛冶川利文	聖書釈義 I 松原 望		

選択科目

午後 PM13:00～15:00	ドラムクラス チップ・ブラウン	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	ボイトレニング 新井田路子	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
	英語クラス 坂本 麗名	ピアノクラス 新井田路子			

CFNJ CD販売・刊行物

不治の病と言われた難病である、筋ジストロフィー症からの奇跡の癒し！



感動の証し「神の指がふれた時」
単独CD
定価/1枚 (CD) (送料別) **700円**



「神のみことばのいやしの力」
定価/1枚 (CD) (送料別) **1,000円**

創世記から黙示録までのいやしに
関するみことばの朗読CD



「山をも動かす祈り」



「いやしの信仰」 「聖霊のバプテスマを受けるには」



驚くべき憐れみに満ちた人生の証

「主の恵み尽きることなく」

副学院長 鍛冶川 紀子著

●お申し込みは/学院事務局まで

※サンプルは、右記のページで聴くことができます。http://www.cfnj.com/media.html

あなたも学んでみませんか？

新入生募集中!

(各学期から入学出来ます)



ホームページをご覧ください!

cfnj.com

体験入学も可能です。

授業料、宿泊費、食費込み

コース

アルプス(牧師リーダー)コース
1・2年コース
短期コース
通信・聴講制度

★演劇・ドラマコース
★タンパリンクラス
★ドラムクラス
★ピアノクラス
★英語クラスほか

※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。

2015年度 CFNJ会計報告 (2015年1月~12月)

収入		支出	
前期繰越	2,978,648	給与手当	17,371,800
KF献金	15,233,965	謝礼金	3,350,410
団体献金	2,723,987	対外献金	667,000
個人献金	6,180,697	水道光熱費	5,050,564
授業料収入	4,151,000	旅費交通費	1,027,196
寮管理収入	4,969,200	印刷費	608,281
食費収入	1,803,761	通信費	825,953
その他の収入	848,945	消耗品費	413,451
		火災保険	247,520
		修繕・維持費	933,507
		食費(材料費)	1,602,682
		広告費	257,040
		退職金基金	1,275,000
		その他の支出	1,001,411
		支出合計	34,631,815
		次期繰越	4,258,388
収入合計	38,890,203		38,890,203



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688
●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

